



学校運営協議会だより

～コミュニティスクール～

No.01

令和2年7月27日

発行：CS担当

【教育目標】小樽の未来をつくる 北陵生の育成 【重点】「未来につながる力を育てる」～小中一貫教育の推進～

学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）について

本校は、昨年度に学校運営協議会制度を導入し、コミュニティ・スクールとなって今年で2年目となります。この制度は、学校と地域が力を合わせて学校の運営に取り組む「地域とともにある学校づくり」への転換を図るための有効な仕組みです。子どもや学校の抱える課題の解決、未来を担う子どもたちの豊かな成長のためには、社会総がかりでの教育の実現が不可欠です。本校では、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていきます。

コミュニティ・スクールの主な3つの機能

- ▶ 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する。
- ▶ 学校運営について、教育委員会または校長に意見を述べるができる。
- ▶ 教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べるができる。

第1回 学校運営協議会の中で頂いたご意見等



当初4月に予定されていた第1回の学校運営協議会を7月21日（火）に開催しました。宮澤校長より、学校経営方針や生徒の活動の様子等について説明があり、その後、各委員の皆様から貴重なご意見を頂きました。学校と協議会がお互いに当事者意識を持ち、「地域でどのような子どもたちを育てるのか」という目標やビジョンを共有することができました。

【協議事項や主なご意見など】

- 学園制加配による小学校高学年での教科担任制，中学校教員による乗り入れ授業の実施について
⇒大変よい取り組みである。小・中学校間の垣根を低くし，9年間を見通した子ども理解が大切である。
- コロナ禍での子どもたちの思い，社会性の芽生えなどについて
⇒子どもたちなりにストレスや現実に向き合いながら，一生懸命生活している。子どもたちの不安に寄り添いながら，取り組みを進めていきたい。

学校運営協議会 委員名簿

- 北陵塾の実施について
⇒参加生徒数は，例年に比べて多い。学習時間の確保に効果を上げている。一層活発に進めてほしい。
- 梅ヶ枝の横断歩道の渡り方について
⇒この課題を生徒だけの問題ではなく，地域社会全体の問題として考え，行動すべきである。生徒自身に朝の交通安全指導を体験させるなどの工夫も考えられる。

番	職名	氏名	役職	就任日
1	会長	遠藤友紀雄	元北陵中学校評議員	H31.4.1
2	副会長	荒谷しげ子	手宮連合町会長	H31.4.1
3	委員	佐藤 隆	清水町会長	H31.4.1
4	委員	北川 和子	民生主任児童委員	H31.4.1
5	委員	美野本明美	民生児童委員	新任
6	委員	船島 英婦	特別養護老人施設「はる」施設長	H31.4.1
7	委員	村岡 亘	北陵中学校 PTA 会長	H31.4.1
8	委員	日野 真湖	北陵中学校 PTA 副会長	新任
9	委員	横澤 里美	北陵中学校 PTA 副会長	新任
10	委員	宮澤 知	北陵中学校長	H31.4.1
11	委員	庄司 真人	北陵中学校教頭	H31.4.1
12	委員	齊藤 敏弘	北陵中学校主幹教諭	新任